

電子メールを利用した短大生と小学生の交流

— インターネットを活用した情報教育の試み —

宮武 直樹⁽¹⁾ 松下 健一⁽²⁾ 中島 洋一⁽³⁾

<概要> 一般的に情報教育のリテラシーとして、相変わらず何処でも「ワープロ・表計算・データ・ベース」などの教育が行われてきており、このあり方について模索がなされている。本研究は、一つの考え方として、電子メールとインターネット（ホームページの作成を含めて）のための「ワープロ」、アンケート調査やデータベースを作るための「表計算」と言う指導の観点のもとに実践した情報教育の試みを報告したいと思っている。

具体的には、短大生と小学生の電子メールの交換を通しての子供たちの思い（心の教育）やネットワークの理解とネチケットについて学んだ体験談である。

<キーワード> 電子メール インターネット 情報教育 情報活用能力 日本語ワープロ

1. はじめに

情報処理の指導観点は従来、コンピュータリテラシーとしてワープロや表計算を学習してからその応用として何をするかを考えるのが普通であるが、これをインターネットや電子メールのための一つの道具として取り扱うことにした。近年、女子短大生でもパソコン＝インターネットという考えがありホームページや電子メールに強い関心を持っているので、これを利用して、学生が主体的に学ぶことのできる授業の実現を試みようと考えたものである。

本報告は、白梅学園短期大学教養科の情報処理概論の中に、ホームページの作成と電子メールを取り入れ、北海道雨竜町立小学校の生徒との交流を通して、新たな視点での活動の在り方を探ろうというものである。

2. 授業の内容

具体的には、インターネットの体験を通して学生が楽しみながら通信手段としてのインターネットの世界に触れさせ、情報の収集や発信について情報の即時性やボードレス性を体験的に学ばせようとするものである。さらに、情報ネットワークの体験を通して、国際的な感覚の基礎を培うことを期待している。したがって、双方向性を持つ本授業は女子短大生や小学生におけるパソコンやインターネットの有用性についての検証を試みることになる。授業内容は、

- (1) 日本語ワープロ Word6.0 の基本操作(検定1級程度の文書作成)
 - (2) 表計算ソフト Excl5.0 の基本操作(表計算、グラフ、データベースの作成)
 - (3) ホームページへのアクセス(Netscape Navigator の基本操作)
 - (4) 電子メールによる送受信(AL-Mail の基本操作と教師と学生、雨竜小との交信)
 - (5) HTML によるホームページの作成
 - (6) データベースの構築
- などである。

3. 育み、学ぶ

このごろの学生は、無目的、受身、低思考、自主意欲欠如、体験不足と言われている。この傾向は、年々高くなっているように思われる。私はこの原因の一つに、知識・理解中心の今の小・中・高校の偏差値教育にあると考えている。この相対評価は、数学的な計算上の個人の集団における客観的位置を示すものでしかなく、子供の努力が成績に反映されない。特に、成績低い子どもにおいて無気力観が発生し、努力することを放棄することが考えられる。その点で知識、理解度そのものよりも生徒自身が示す努力や積極性を重視して、指導目標へどれだけ到達したかを示す絶対評価への移行を望んでいる。

従来の教育を「教え」「育てる」こととするならば、これからの教育は、生徒自身が「学び」「育つ」ための素材と場を提供し、本時の中で生徒や学生を励まし、奮起を促すものでなくてはならないと考えている。今回はこうした観点にたって実践を試みたものである。

今日の高度な科学、技術の社会に対処するには豊かな創造力や社会とのコミュニケーション能力が求められている。この能力は感性や柔軟な発想といったソフト能力を培う必要がある。

教育の現場では、いままでの知識偏重教育から創造性重視の教育への転換が不可欠であり、それを育てるための学校に関わる問題は、広く小学校から大学院までを包含して考えなければならないと思うところである。

子ども一人一人がこれからの社会の中で、生涯にわたって、心豊かに主体的に、創造的に生きていくことができる資質や能力を育成するための努力をしていきたいものである。

4. おわりに

今回の体験学習を通して、小学生も短大生もともに、

- (1) パソコンに触れ、www を閲覧、検索のしかたを覚えてインターネットの楽しさ

(1) MIYATAKE, Naoki : 法政大学工学部 E-mail: miyatake@k.hosei.ac.jp

(2) MATSUSITA, Kenichi : 岩見沢市立第二小学校 E-mail: dainis@mc.city.iwamizawa.hokkaido.jp

(3) NAKAJIMA, Yoichi : 空知教育研究所 E-mail: selnewtn@msknet.ne.jp

を学び。

- (2) 電子メールの読み、書きができる。
- (3) インターネットにホームページを開く。
- (4) 本学のホームページに研究室紹介や画像(小学生のみ)をのせる。などの教育効果がみられたと思っている。

<電子メールの紹介>

Kaori Tiba <ky09061@matsul.shiraume.ac.jp>さんのメッセージを転送します：
 雨竜小学校6年生のみなさん、はじめまして。そしてこんにちわ。
 私はフルネームを千葉佳織(ちば かおり)といいます。
 けど、ほとんど学校での友達はこのことを名前で呼びます。
 (あと"ちーちゃん"って呼ばれていたこともあります…)
 さて、インターネットであなたたち雨竜小学校のホームページを見ていて、ふと私自身の小学校のころを思い出してしまい、なつかしいなあと思いました。
 同時に、ちょっぴりうらやましいなあと思いました。
 「あなたたちのクラスは男の子も女の子も関係なくなかよくて、いつも楽しそうだなあ」と、そんなふうに思いました。
 このメールを出すころは12月。そちらの気候が厳しくなるころですね。
 東京も冬は寒いですが、そちらにくらべるとそう寒くはないかも知れません。けれど、毎年1回は必ず雪が降ります。(あんまりつもらないけど…)
 今日にはもう時間がないので突然だけどここで終わりにします。
 メール下さい。お返事待っています。

【メールアドレス: ky09061@matsul.shiraume.ac.jp】マデです。

From: "雨竜小学校" <dragon97@seagreen.ocn.ne.jp>
 To: <ky09061@matsul.shiraume.ac.jp>
 Date: Tue, 20 Jan 1998 12:02:40 +0900

千葉佳織さま

はじめまして、佐々木早苗です。
 私は大学生のお姉さんとはなした事が無いので
 どういうことを書けばいいのかわかりませんが、
 いきなりだけど、私は「はぐれ刑事」の藤田まこと
 さんが好きです。しぶくてかっこいい。
 あと、お姉さんがどんなひとか興味津々なので
 写真を送ってください。

北海道雨竜小学校との電子メールの交信についての感想

975061番 千葉 佳織

この電子メールでの交信は他校生とは始めてで半分緊張していたけど、もう半分はあんまりやりたくないと思っていました。
 しかも、メール交信の相手は小学生だというのもその一因でした。
 しかし、実際に交信してみて、今時の小学生ってどんなだろうと思う、同時に私自身の小学生時代も一瞬思い出しました。
 なかなか返答のメールが来なくて最初はやきもきして、ついにはあきらめていましたが、今日やっと返事がきて、何となくうれしく思いました。
 私に返答のメールを送ってくれた子は女の子でした。
 短い文面でしたが、なかなかかわいいこと書いているなって思いました。(私の写真を送って欲しいというにはちょっと困りましたけど……)
 何はともあれ、今回こういった形で電子メールの交信ができたことは結構良かったなと思います。

<ホームページの紹介>



Sorry. We have no English pages.
 本学には現在、オプショナルなWWWサーバは存在しません。このページ以下のいかなるも本学ないし本学園の公式見解ではありません。

白梅学園短期大学 WWW Server

白梅学園へのアクセス案内

教育・研究組織				併設校
保育科 専攻科(保育・福祉)	心理学科	教養科	福祉援助学科	白梅学園高校
図書館 蔵書検索もできま	情報処理センタ	保健センター		短大付属白梅園 子どもの作
教育・福祉研究センター 公開講座 白梅保育セミナー(計画中) 福祉情報データベース(計画中)				その他 関連団体への

職 就職情報基地
 就職情報へのリンクを集めました。就職希望者必見!! 校地内お花見コーナ

学生のホームページ 卒業生のページ (まだ準備中) リンク募集中 学内向けのページ 外部の方はご連絡ください。

ホームページを作ったの感懐文

975076 村松 史

後期に入ってから、ほぼ毎日パソコンに向かって、インターネットを楽しんでホームページを作る作業は本当に楽しかった。
 デジタルカメラでとった映像をパソコンに取り入れたり、HTMLを使用してトを入れたり、とにかく新しい経験で新鮮であった。
 自分の構成したホームページの内容が、ネットワークを通じ、不特定多数の人からもらえるなんてに文化の発達、めまぐるしいと思う。
 今回は、ゼミの友達と一緒に作ったので学校の話ばかりであったが、そのうちパソコンも回線に接続してもらって、自分の趣味のホームページを作りたいと思ストブックなどを作って、皆と交流を図りたいと思う。

西村ゼミ(日本女性史)



ようこそ。西村ゼミ(日本女性史)のホームページへ。

突然ですが、簡単にゼミの紹介をいたします。

ゼミ担当教授: 西村汎子先生

(「上品な感じの貴婦人」と入学の際の学生会発行のパンフレットには書いてありましたが…)御歳は推定60代後半~70代くらいですがとても元気な先生です。
 (ゼミでの報告の際に内容への指摘、もしくはつっこみも鋭いものですが…)
 1年生は現代における女性問題(就職、結婚など)を、2年生は日本の女性史を学んでいきます。

女性の歴史というのは高校生までの歴史の教科書にはほとんどなかった分野でした。しかし、これからの時代はどんな社会でも男女平等に共生していかなければならない時代だと思えます。
 そのために、当西村ゼミでは今までの時代を生き延びてきた数多くの女性たちがたどってきた歴史を組織して学んでおります。(とは言ってもこれを作成している1年生の段階ではまだ歴史には入っていませんが…)

1年生時に取り上げた主な現代の女性問題

- ・家庭内における夫婦(男女)の役割分担について
- ・総合職の女性と一般職の女性について
- ・老人問題と女性 などでです。

2年生のゼミ内容は未定ですが、おそらくさまざまな時代の女性像についてクローズアップし、取り組んでいくだろうと思います。
 (たぶん有名なものでは豊原呼や北条政子、日野富子あたり。あとは和宮やお市の方あたりもやりそうだなあ。まだよくわかんないけど)

あまり紹介にはなっていませんでしたが、今回はこれにてお開きに致します。

1998年1月22日